

令和8年度 施政方針の概要

2月18日、令和8年第2回富里市議会定例会において、五十嵐博文市長が施政方針を発表しました。
その中から、重点事業や今後の取組の一部をお伝えします。



富里市長 五十嵐 博文

令和8年度は、これまでの歳入改革を継続しつつ、市民の皆さまの期待に応えられるよう、「市民起点」に基づき、健康・福祉・教育の充実を中心に、創意工夫を重ねながら各施策の実現に向け積極的に取り組んでまいります。

一般会計予算は、188億3,900万円で、前年度比2.1パーセント増となる過去最大の予算規模となりました。

発表の様子は、YouTube「富里市議会チャンネル」で公開しています。



施政方針全文は市公式ホームページをご覧ください。



心ひとつに 未来に向かって飛び立つ 躍動のとみさと

結婚から子育てまでの重点支援

これから担う若い世代が、結婚・妊娠・出産・子育ての希望を実現することができるよう、令和7年度から令和9年度までをホップ・ステップ・ジャンプとして、3カ年を目標に「結婚から子育てまでの重点支援プロジェクト」を進めています。

これまでの既存事業と、令和7年度の結婚から乳幼児期を中心とした7つの事業「ホップ」に加え、令和8年度は『小・中学生の新生活を応援』をテーマとした「ステップ」の5つの事業を新たにスタートします。

詳しくは5ページへ



都市計画道路3・4・20号成田七栄線の整備

平成28年度から、日吉台交番前付近から七栄北新木戸土地区画整理事業区域までの未整備区間に着手しています。令和8年度は、延長870メートルの舗装工事や区画線工事のほか、道路照明灯の設置、交差点部分のカラー舗装など、交通安全対策工事を行い、令和8年度中の開通を目指します。

また、開通を控え、沿道地域や周辺地域において、都市的土地利用への転換が活発となっています。「日吉倉離山地区」では、複合商業施設の地区計画が決定され、「七栄北新木戸北部地区」でも、民間事業者の都市計画提案により複合商業施設の地区計画が決定されました。



ゼロカーボンへの取組

SAF

令和7年12月から、家庭から排出される廃食用油を原料とした持続可能な航空燃料「SAF」の取組を開始しています。令和8年度は、公共施設4カ所に回収場所を増設し、ごみの分別による減量化を進め、ゼロカーボンシティの実現に向けた取組を推進します。

市内の全世帯が
500ミリリットルずつ
廃食用油を出す



合計12,500リットル
(市内約25,000世帯)



成田空港から
新千歳空港まで
飛べます！

SAFの詳細は市公式ホームページをご覧ください。

回収場所について、詳しくは11ページへ



二酸化炭素排出量の抑制

「とみらいテラス（市立図書館）」や「すいすいキッチン（給食センター）」をはじめとする公共施設8施設について、交換が必要なすべての蛍光灯をLED化します。今後も、消費電力の削減及び二酸化炭素排出量の抑制に努めるとともに、電気料金や維持管理コストの削減を図り、脱炭素社会の実現に向けた持続可能なまちづくりを推進します。



デマンド交通 運行体系の変更

デマンド交通「キャロリン」号の利用者が増え、順調な広がりがみられる中、医療機関への通院や商業施設への買い物などで平日の午前中に利用が集中し、予約が取りづらい状況が生じているため、運行体系を変更します。混雑する時間帯は運行車両を増車し、利用が少ない土・日曜日、休日の車両を減車するなど、さらなるデマンド交通の利便性向上と運行経費の抑制に努めます。



農業の気候変動対策の拡充

農業が基盤産業である本市において、高温化では農作物だけでなく、農業従事者の熱中症リスクを低減する必要があります。そこで、令和8年度は、これまでの高温対策や病虫害対策への支援を継続するとともに、新たに、身体を冷やす衣類や機器の導入に対する支援を行い、農業従事者の安全意識の向上・対策強化を推進します。



▲ファン付きジャケット

消防車両の更新

近年、自然災害は、いつ、どこで発生するか予測困難な状況にあり、また、本市における救急出動件数も増加傾向で、消防職員に求められる役割は、より高度で複雑になっています。このような状況下において、災害対応能力を一層強化するため、「圧縮空気泡火装置」を装備した水槽付消防ポンプ自動車1台と、傷病者を安全かつ円滑に搬送するため、電動で昇降が可能な「電動ストレッチャー」を搭載した高規格救急自動車1台を更新します。

